

広島県中小企業団体中央会 2019年10月分情報連絡一覧表

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

10月の出荷量は前月比20.8%増加、前年同月比9.9%増加となり、売上高は前月比22.1%増加、前年同月比10.5%増加となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

消費税率引き上げの影響はなかった。

地方発送のある企業は運賃負担の大きさに疲弊しており、収益を圧迫している。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県北部国産材加工協同組合

丸太の伐採シーズンに入ったが、出材が増えてこないため、丸太価格は桧を主体に値上がりしている。

輸出梱包、パレット等の物流関係の荷動きの低迷が長期化している。

仕入値が上昇しているが製品価格への転嫁が進まず、採算が悪化している。

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・令和元年9月の全国の住宅着工戸数は77,915戸で前年同月比4.9%減少
- ・季節調整済年率換算値では89.7万戸(前月比0.7%増加)
- ・利用関係別では、持家は24,008戸で前年同月比3.5%減少、貸家は29,414戸で前年同月比16.8%減少
- ・分譲住宅は24,029戸で前年同月比14.1%増加
- ・木造住宅着工は44,430戸で前年同月比8.2%減少
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で借家が13ヵ月連続で減少し、総戸数も需要期でありながら3ヵ月連続で減少している

<広島>

- ・広島県内の9月の着工戸数は1,291戸で前年比7.7%減少、このうち持家は484戸で同3.6%増加、貸家は481戸で同17.1%減少、分譲は324戸で同1.5%減少
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で3ヵ月連続の減少となった
- ・地域別では広島市が着工戸数504戸で前年同月比18.3%減少、東広島市が同141戸で同18.5%減少、呉市は29戸で同61.3%減少の一方、福山市は289戸で同23.5%増加、尾道市は88戸で同175.0%増加、廿日市市は78戸で同47.2%増加と地域毎にばらつき見られる。8月後半から9月前半の荒天で基礎工事の遅れや大工等職人不足から現場の遅れは慢性化し、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要も限定的で、戸建て住宅先細りの声もあるが、プレカット工場は依然高稼働を維持し、非住宅物件も増加しており、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

福山木材協同組合

10月は消費税率引き上げの影響からか、若干売上は落ち込んでいる。年末に向けて少し上向く気配が感じられる。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

今月は大阪で全日本印刷工業組合連合会のフォーラムが開催され、また広島でも印刷産業夢メッセが開催された。

印刷業界全体では、先行き不透明感が漂っているが、若いスタッフに希望や夢を与えられる業界であるために、皆で一致団結して乗り越えていきたいと願う。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から大きな変化はない。生産量が長期的に右肩下がり傾向で、原価低減だけではなく、昨今はステイクホルダーからのコンプライアンスや環境への対応も強く求められている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連の売上は生産調整等により減少傾向が続いている。全体的に下降気味である。

米中貿易摩擦の影響で、世界的に景気の低迷が懸念される。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

元年10月3, 438m³ (前年比10.44%増加)

元年 9月3, 219m³

30年10月3, 113m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

軀鉄鋼協同組合連合会

建築向けの鋼板は高速道や発電所の補強用としてコンスタントに受注がある。土木用の杭が水害などの影響で需要が増えており多忙である。造船向けの製品は厳しい。大手と組んでいないと厳しい状況である。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、前月比58.6%減少となったが、これはスポット受注による増減と出荷時期の変更等による売上計上のタイミングによるものである。前年同月比は25.5%減少でやや減少傾向で推移している。

業界の受注総額において、9月の1,000億円割れは2010年以降9年ぶりである。今年受注状況から、来期は生産操業度の低下が懸念される。

出島工業会協同組合

今月は、消費税率引き上げ後の反動減により前月比、前年同月比ともに売上が減少した。組合員の動向について、特に大きな動きはない。

組合の課題としては、役員の高齢化と世代交代である。

(電気機器)

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

今月の国内売上は前年並みであるが、多少受注が増加しているため前月比1.5%増加、前年同月比3.7%減少となった。

最低賃金の上昇は経営を圧迫している。残業規制への対応に苦慮しそうである。中小企業の合理化投資に予算措置されることを願う。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客 (マツダ) の業況 (生産台数) に比例している。

・10月の国内自動車販売台数は全需が315千台、前年同月比24.9%減少と4ヶ月振りの前年割れ。登録車は前年同月比26.4%減少と4ヶ月振りの前年割れ、軽自動車は前年同月比で22.3%減少と3ヶ月振りの前年割れ。マツダ車は同14.4%減少と2ヶ月振りの前年割れ

・アメリカの9月の全需は1,273千台で前年同月比11.1%減少と2ヶ月振りの前年割れ。マツダ車も同11.4%減少と2ヶ月振りの前年割れ

・欧州の9月の全需は1,479千台で、前年同月比14.6%増加と13ヶ月振りの前年超え。マツダ車も同10.8%増加と2ヶ月振りの前年超え

・中国の9月の全需は2,436千台で、前年同月比1.7%増加。マツダ車は同5.9%減少と3ヶ月連続の前年割れ

・上記各地域の状況下、マツダ車の9月の海外販売合計台数は110千台、前年同月比1.3%減少と13ヶ月連続の前年割れ

・マツダの9月の輸出動向については、輸出台数は前年比6.5%増加と3ヶ月連続の前年超え

・マツダの9月の国内生産台数は、前年同月比5.3%増加と3ヶ月連続の前年超え

●輸送用機械器具 (造船)

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の令和元年9年の船舶建造許可実績は3隻、117,150総トンであった。(前月5隻298,750総トン、前年同月4隻373,500総トン)なお全て輸出船でこのうち貨物船が2隻、油槽船が1隻であった。

(一社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

(卸売業)

●卸売業 (総合)

協同組合広島総合卸センター

消費税率引き上げの影響は未だ顕在化していない状況である。

「資材関連」「雑貨」においては、人件費の負担増や競争激化はあるものの、当面は横ばい傾向である。

「食品」においては、足もとでは競争激化や人件費、物流費の上昇はあるものの、当面は横ばいの見込み。

「繊維」においては、人件費等経費増加で足もとは厳しいが、当面は横ばいの見込みである。

高齢化や新規採用難により人手不足感は継続している。競争激化や経費負担の増加もあり、足もとの景況感はやや厳しいが、今後の見通しとしては、横ばい傾向である。

●卸売業（食料）

広島県東部食糧協同組合

10月からの消費税率引き上げ後も取扱商品は食品中心であるため、8%と税率に変更はないが、当組合、得意先ともに売れゆきが鈍い。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

8月の着工状況は、前年比14.0%減少となった。内訳としては、持家が前年比9.2%増加、分譲が同26.3%増加、貸家が同33.1%減少と、持家及び分譲が増加した。

消費税率引き上げに伴う駆け込み需要は感じられなかったが、引き上げ後は若干市場が落ち着いているように感じる。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

消費税率引き上げの影響により、今月の売上は前年比20%~30%減少となっている。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

びんご畳表は、消費税率引き上げ後も順調で、販売、取扱は横ばいで推移している。国産畳表（熊本）の状況は、藁業大会を開催し、藁業の振興に向けて決意を新たにした。生産も本格化し、フル稼働の状態である。相場は強気で推移している。

中国産表は、寧波ではフル稼働の状況、工場の数も減少しており強気の相場を期待している様子である。輸入業者との交渉に力が入っている。

国東半島の「青い」の生産は限界があるものの、相場は高値で推移している。

（小売業）

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

消費税率引き上げ後売上が非常に落ち込んでいる。回復の兆しが見えない状況である。

広島生鮮三品連絡協議会

鮮魚は入荷量の減少から相場高が続き、青果は平年並みの入荷であるが消費が伸びず、前月から相場安が続いている。

鮮魚、青果とも前年比、前月比ともに売上は減少している。9月末までの消費税率対象商品の買いだめの反動が主な要因である。

消費税率引き上げ後、消費者の購買意欲が下がり、鮮魚、青果小売店は苦戦している。

鮮魚、青果とも売上減少から収益状況が悪化し、景況感は下降が長引く見通しである。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比0.4%増加となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比0.7%減少、冷蔵庫同4.7%増加、洗濯機同10.5%増加、IHクッキングヒーター同3.6%減少、電気温水器同9.2%減少、エアコン同12.6%増加となった。

消費税率引き上げ前の9月末にかけて展示会などを開催したが、思うような売上増加には繋がらなかった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

精製元売からの仕入価格の変動が比較的小さいためか、小売価格の変動も少ないように思われる。ただし、比較的安値での推移の上、販売量は年々減少しており、販売事業者の財務状況は気がかりである。

引き続き人手不足であり、今後灯油シーズンが到来し、冬用タイヤへの交換作業の増加等繁忙期になるため、こちらも気がかりである。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

消費税率引き上げの著しい影響は見えない。

組合で取り扱っているキャッシュレス決済カードについて、キャッシュレス消費者還元事業へ早くから申請していたにも関わらず10月に入ってからの承認となり、10月20日からポイント還元が開始となった。そのため、高額商品取扱店舗等でポイント還元開始前に2、3店で買い控えが見られた。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比2.2%減少、前年比4.2%増加

車検場収入は、前月比0.3%減少、前年比4.2%増加

重量税・登録印紙の売上は、前月比4.4%減少、前年比7.3%増加

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

消費税率引き上げに伴い、売上が減少。景況感もやや悪い状態である。

高齢化、後継者不足により年内で廃業する組合員がいる。

●警備業

広島県警備業協同組合

人手不足が続いている。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、今月は前月比2.3%減少、前年同月比33.2%増加、前年累計比8.8%増加となった。今月も引き続きカーテン、壁装が好調で全体を押し上げた。敷物は低調が続いている。11月から年末に向けて工事量が増加する見込みである。

広島市指定上下水道工事業協同組合

材料の売上が増加した。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受付件数は前月比81.5%増加、前年比26.7%増加となった。先月同様、太陽光発電の今年度適用単価の締め切りが迫ることに伴う駆け込み申込であると思われる。容量変更・リフォーム工事等が大幅に増加している。

今年度に入っても作業員不足は解消できず、益々深刻化している状況である。

(運輸業)

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

10月の売上高、収益状況は、ともに前月比増加、前年同月比変化なしとなった。組合員の取扱い貨物に季節商品は少ないが、機械金属、土木関係は好調に推移している。

働き方改革関連法が施行され、時間外労働の上限規制については猶予期間が4年半あるが、対応は厳しいとの意見を耳にすることが多い。出来る方法を模索しながら前向きに取り組んでいくしかない。

広島輸送ターミナル協同組合

10月は荷動きが悪化しており、前月比、前年同月比とも収益は減少した。

9月は消費税率引き上げ前の駆け込み需要により荷動きが増加し、10月はその反動で減少した。

働き方改革によりドライバーの就労時間が短縮されており、運搬量の減少と運行距離の短縮により収益が悪化している。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

売上高、収益状況は前月比、前年同月比ともに大きな変化は見られない。

しかし、消費税率引き上げに伴い荷動きに若干、影響が見られる。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月の売上は、前月比減少となった。資金繰り等は特に変化はない。

前月から市町の固定資産税標準宅地評価及び国土交通省の地価公示評価作業が始まり、当月から国税の相続税標準宅地評価も始まるため年度末にかけて多忙になると思われる。

地価は依然として上昇基調で推移している。ホテル、マンション建設用地の需要が強い。資金力のある後発の県外資本業者が物件確保のため高値で用地取得を行うため地元の中小不動産業者の用地取得が難しくなっている。また、土木業者の人手不足もあり、H30年7月豪雨の災害復旧工事が進んでいない。

働き方改革等により残業時間による収入減は平均的単価の飲食業界の景況悪化を招いている。単価のかなり高いお店や安価なお店にはさほど影響はないようである。